探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業　大崎上島町立大崎上島中学校区　～大崎上島の将来を担う　たくましく生きぬく子供の育成～

大崎上島中学校

思考力・判断力・表現力
主体性・積極性
自己理解・自らへの自信

東野小学校

豊かな思考力・判断力・表現力　創造力
主体性　回復力・耐える力
多様性・協調性・コミュニケーション能力
郷土愛

木江小学校

思考力・判断力・表現力
コミュニケーション能力
チャレンジ精神
多様性（自己肯定感）

大崎小学校

豊かな思考力・判断力・表現力
多様性・協調性　主体性・粘り強さ
課題発見力　　郷土愛

離島という環境に「探究」を深める可能性！

島まるごと教材！「大崎上島学」

「大崎上島にある全てが，子供たちの教材となる！」ふるさと大崎上島を学ぶことによって地域の素晴らしさに気付かせ，地域を誇りに思う心を育てる。将来にわたって大崎上島で暮らしたいという志や，大崎上島を離れてもたくましく生き抜く力を育てる。単に我がふるさとを知るだけでなく，地域の自然，伝統文化，産業や暮らしを児童生徒が学ぶことで自らを見つめ直し，自分の生き方を考える。大崎上島中学校区の総合的な学習の時間や生活科の学習には「大崎上島学」の目標を達成するための重要な役割があります。

「大崎上島学」ガイドライン

幼小中連携教育を推進！

～人とのつながり・学びのつながり～

- 大崎上島の人・物・事を教育材料にして行う学習
- 幼・小・中・高の系統的・発展的な学習
- 地域貢献につながる知識や技能、態度を育むことをねらいとする学習

異校種が連携し，系統的な学びの実現を図ります。幼小中を通して地域に根ざした教育を推進し，ふるさとを愛する子供を育てます。

Keyword
つながり

主体的な学びを促す「課題発見・解決学習」の充実
【ねらい】自分を知り、受け入れる。多様性に触れる。自分の意見を主張する。違いに気づき、多様性を受容する。

- 大崎海星高等学校・広島商船高等専門学校・三原特別支援学校大崎分教室　幼小中の学びから、新たな価値の創造
- 中学３年　町づくりに参画する活動　【課題】大崎上島の特色を活かしたまちづくりは？・教科学習・将来像・町への提言
- 中学２年　町の特色を発信し地域に貢献する活動　【課題】大崎上島の特産品を買ってもらうには？・教科学習・商人体験・職場体験
- 中学１年(小６関連)　町のよさを見つめ直す活動　【課題】自分たちにできることは何がある？・教科学習・櫂伝馬体験・海岸清掃・福祉体験
- 小学６年　大崎上島の伝統文化　【課題】伝統文化継承の意義は？・教科学習・櫂伝馬体験・修学旅行（県外）
- 小学５年　大崎上島の産業　【課題】大崎上島にはどんな産業があるの？・教科学習・「山･海･島」体験活動・社会見学
- 小学４年　大崎上島の自然　【課題】大崎上島の海を守ろう。・教科学習・グローバルキャンプ・社会見学
- 小学３年　大崎上島の宝物　【課題】大崎上島ってどんなところ？・教科学習・上島めぐり・遠足
- 小学２年　校区の様子　【課題】まちにはどんなところがあるの？・教科学習・町たんけん・遠足
- 小学１年　校区の自然　【課題】どんな四季の遊びがあるの？・教科学習・学校めぐり・遠足
- 幼稚園　・地域や伝承の遊び　踊り音楽など

島に愛着を持ち　島のために貢献する子供

Keyword
貢献

◆キャリア教育の視点から
事前・事後活動の充実
◆地域人材・関係団体との連携

小学校３校連携「Ｋ授業」

小学校３校では，「大崎上島学」各学年において，「Ｋ授業」として，総合的な学習の時間や生活科の取組を交流する場を設定しています。具体的には，各学年で３校共通のテーマを設定し，探究活動や地域貢献活動を行い，発表会を行っています。会にはお世話になった地域の方も招き，それが児童の意欲にもつながっています。やがて，大崎上島中学校で１つとなる子供たちは，共に学び合い，つながり，高め合う集団へと成長していきます。

↑小学校３校の先生方による大崎上島町教育研究会「学年部会」の様子

「Ｋ授業」の取組例

小学校５年生
「大崎上島の産業」
東野小：水産業
木江小：観光業
大崎小：農業

☆各校で関心のあるテーマについて探究活動☆

①大崎上島の産業の現状や携わる方の想いや願い，将来の展望などを各校で調査。
②【Ｋ授業】各校が集まり，成果を発表する。発表方法の工夫も。
③Ｋ授業を終えて，課題の再設定を行い，探究をさらに深めていく。

例：「Ｉターンされて島に来られた方にはどんな方がいるのだろう？どんな想いで産業に携わっているのだろう？」

大崎上島中 PBL「探究学習シート」

ＰＢＬ（Project Based Learning プロジェクト型学習）では，「答えのない問いを扱うこと」，「実生活・実社会の課題解決につながる魅力的な題材の設定（社会への還元）」，「児童生徒が主体的に学びを創造すること」等が求められます。PBL を進めていくためのワークシートを「探究学習シート」として開発しました。

←単元全体の計画書

全体プロジェクト名
2030 年大崎上島 SDGs 実現プロジェクト！

プロジェクトの達成目標	人口減少が続いているわたちのふるさと大崎上島で，2030 年度を達成させるためには，どんなことが大切なのかを！A！人が考えた ※SDGs（Sustainable Development Goals）「持続可能な開発目標」 ・すべての人々にとってよりよい，より持続可能な未来を築くための 2030 年までに世界中で各目標を達成することが求められている。
プロジェクトに関わる身付けしたい資質・能力	思考力・判断力・表現力　主体性・積極性　自己理解・自らへの
プロジェクトにおける評価規準	①探究すること：プロジェクトの達成目標に向けて，よりよい方法を考えることができたか。 ②自ら行動すること：失敗を恐れず行動・チャレンジし，その結果をとるかうとすることができたか。 ③自分を見つめること：自分の興味があることや興味なことを見つけ 来の自分や島の未来について考えたりすることか。 S：120%　A：100%　B：80%　C：80%未満
プロジェクトの概要	「ちたちの大崎上島　SDGs 2030」レポート（興味別）を現地 実現者の方や地域の方に聞くもろうこと。
スケジュール	①小学校での「大崎上島学」を振り返ろう！ ②SDGs とは何んだろう？ SDGs アクションカードゲーム「X（クロス）」をやってみよう！ ③本プロジェクトについての説明【1h】 ④地域貢献活動視察 ⑤海洋講演 ⑥地のづくり体験授業 ⑦櫂伝馬体験体験学習 ⑧船旅体験学習 ⑨大崎上島の「トレードオフ」を探してみよう。【2h】 ⑩大崎上島の「トレードオフ」に対して「リソース」探し。その活動 ろ。【4h】 ⑪アイデア出や交流し，解決策を計画しよう！【1h】 ⑫レポートとしてまとめよう！【4h】 6

全体プロジェクト名
2030 年大崎上島 SDGs 実現プロジェクト！

月　日（　）内容

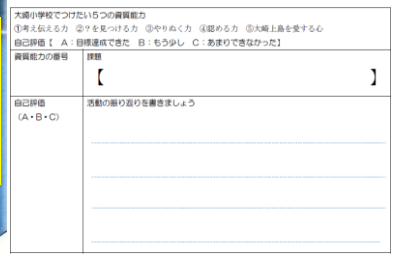
自己評価：

自己評価（自己評価　S：120%　A：100%　B：80%　C：80%未満）

①探究すること：プロジェクトの達成目標に向けて，よりよい方法を考えることができたか。
自己評価：
②自ら行動すること：失敗を恐れず行動・チャレンジし，その結果を次の活動に生かそうとすることができたか。
自己評価：
③自分を見つめること：自分の興味があることや興味なことを見つけたり，将来の自分や島の未来について考えたりすることができたか。
自己評価：

ふり返りシート→

授業の「ふり返り」の充実



大崎小学校でつけたい５つの資質能力
①考え伝える力　②？を見つける力　③やりぬく力　④認める力　⑤大崎上島を愛する心
自己評価【　A：目標達成できた　B：もう少し　C：あまりできなかった】

資質能力の番号	課題 【　　】
自己評価（A・B・C）	活動の振り返りを書きましょう

ふり返りシートの例（大崎小学校）

「育てたい資質・能力」の育成を考えたとき，重要になるのが探究過程の「ふり返り」です。授業の目標は達成できたか，なぜ達成できたか・できなかったのか等，そこに至るまでをふり返り，自分自身の学習を見つめなおすことで，より確実な力が身に付くと考えます。大崎上島中学校区ではその単元で育成しようとする資質・能力から，「評価項目」を改めて設定しています。（例「主体性・ねばり強さ」→「やりぬく力」）やや難しい表現が多い「資質・能力」を児童生徒にもわかりすい形で表現し，共有しています。

さらなる探究の充実に向けて

【研究推進事業３年間をふり返って】

・総合的な学習の時間において，その地域の想いや願い，そして，これまでの指導の積み重ねによって，どの校区もある程度の学習内容が形作られているように思えました。それに倣うだけでなく，新たな課題や学習内容を教員が探究していく必要があります。“教材探究”が必要不可欠です。

・探究が深まっている授業では子供から「今日は○○をしよう！」と声があがるはずです。子供の持つエネルギーを最大限引き出し，子供が主役となって授業を創り出していくために，教師の役割はどうあるべきかを考え続ける必要があります。